



平成 30 年 6 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ソ ル ク シ ー ズ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 尾 章
(東 証 第 一 部 ・ コ ー ド 4 2 8 4)
問 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 金 成 宏 季
TEL: 03-6722-5011 (代表)
URL: <https://www.solxyz.co.jp>

連結子会社 株式会社エクスマーシヨンの上場承認に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社エクスマーシヨン（本社：東京都品川区、代表：渡辺博之、以下エクスマーシヨン）は、本日、株式会社東京証券取引所より、東京証券取引所マザーズ市場への新規上場が承認されましたのでお知らせいたします。

記

1. 新規上場の概要

市場区分 東京証券取引所マザーズ市場
上場承認日 2018 年 6 月 21 日
上場予定日 2018 年 7 月 26 日

2. 当社グループにおけるエクスマーシヨンの位置付け

ソルクシーズグループは、現在、当社を中心にグループ会社 10 社を含めた 11 社の企業からなる、システムインテグレーションビジネスとストック型ビジネスを両輪とする企業集団です。

当社グループの主軸となるシステムインテグレーションビジネスを更に強化・推進する上で、高付加価値業務であるシステム開発の上流工程に注力する中、組込みシステム分野が今後の有望マーケットの一つと見据え、当社は、業界初となる「組込み開発を現場から支援する実践型トータルコンサルティング」を提供するエクスマーシヨンを 2008 年（平成 20 年）に設立しました。

エクスマーシヨンは、開発現場での実践的なコンサルティングと開発メンバーの育成を同時に行う企業として、当分野の第一線で活躍した実績を持つコンサルタントが中心となり、中・長期的な視点で組込みシステム開発現場を支援しています。

3. 上場の目的

エクスマーシヨンは、主要顧客である自動車分野の自動運転や ADAS（先進運転支援システム）等の組込み開発現場において、実践型トータルコンサルティングをご提供しています。車載システムの上流開発現場における市場性は年々上昇傾向にある中、当ビジネスは未だ競合企業が無い状況が続いており、人員不足による機会損失を防止するための対策を講じる必要がありました。また、日本の産業を牽引する自動車分野で、最先端の製品開発をご支援することは、建設機器、農機、医療、FA (Factory

Automation) など、あらゆる分野への事業拡大にも繋がることから、人材ニーズの充足は企業の成長速度に直結する最重要課題と認識しておりました。

これらを踏まえ、当社およびエクスマーシオンは、エクスマーシオンの東京証券取引所マザーズ市場への上場により、高度な専門性スキル、資質、経験を兼ね備えた優秀な人材を確保することに繋がり、磐石な組織体制が構築できるものと判断し、延いては当社グループの社会的認知度、信頼度、企業価値の向上に最適であるとの結論に至りました。エクスマーシオンは、上場を通じて、市場の発展と更なる成長を目指してまいります。

なお、当社は、エクスマーシオンの上場後も、エクスマーシオンを連結子会社として、引き続き資本関係を維持する方針です。

4. 当社グループにおける子会社上場の方針

現時点において、その他の連結子会社を上場する予定はありませんが、当社は成長戦略として「業種・業務別に専門特化した非価格競争力の強化」「グローバル展開」等を掲げており、また、当社グループの将来への投資として「FinTech」、「AI」、「IoT」、「自動運転」、「ロボット」などの新分野のビジネスへの取組みをグループ全体で推進しております。エクスマーシオンと同様に専門特化した事業や子会社が成長戦略を遂行する上で株式上場が必要と判断した場合は企図する方針です。

5. 上場する子会社の概要

(平成 30 年 6 月 21 日時点)

(1) 名 称	株式会社エクスマーシオン (英字名称: eXmotion Co., Ltd.)
(2) 所 在 地	東京都品川区大崎 2-11-1 大崎ウィズタワー23 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 渡辺博之
(4) 事 業 内 容	システムおよびソフトウェアに対するテクニカルコンサルティング およびエデュケーションサービス
(5) 決 算 期	11 月 30 日
(6) 従 業 員 数	49 名
(7) 資 本 金	3,150 万円
(8) 設 立 年 月 日	2008 年 9 月 1 日
(9) 発 行 済 株 式 総 数	1,050,000 株
(10) 大株主及び持分比率	株式会社ソルクシーズ 85.7%
(11) 直近事業年度における業績 (平成 29 年 11 月期)	売上高 694,132 千円 営業利益 125,346 千円

6. 今後の見通し

本件が当社業績に与える影響につきましては、現在精査中です。平成 30 年 12 月期業績予想等への影響があると判断された場合には、速やかにお知らせいたします。

以上